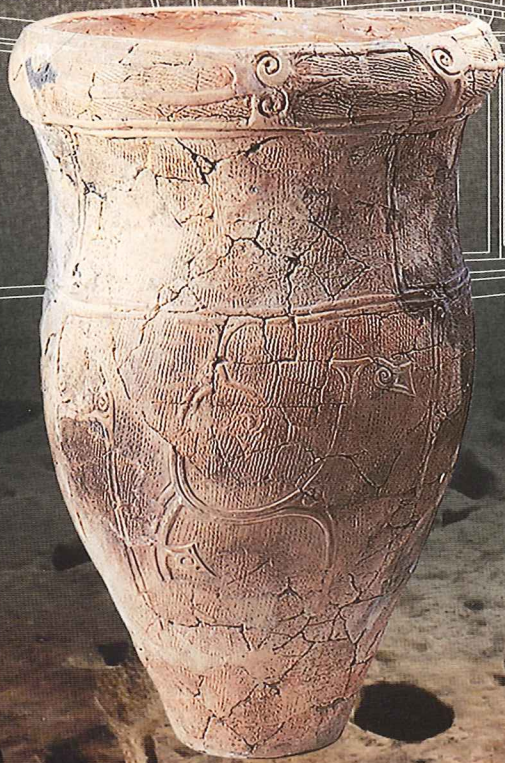


# もりおかの 遺跡

盛岡市遺跡の学び館



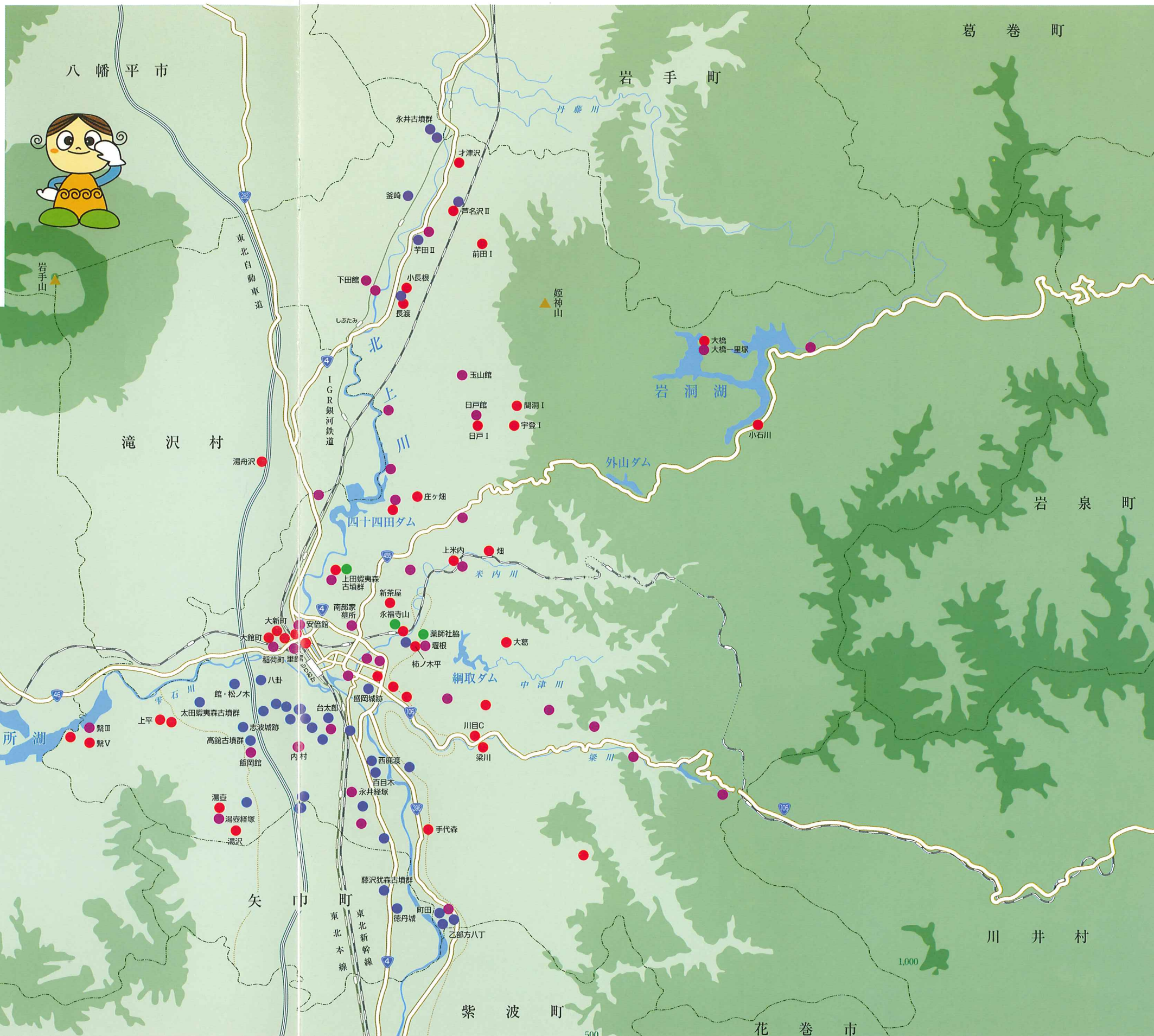
# ●はじめに

盛岡市ではおよそ750箇所の遺跡が見つかっています。

遺跡の範囲は、土器や石器が発見されている場所や地形をもとにして決めています。

遺跡のほとんどは、長い時間をかけて地面の下に埋まってしまっているので、現在では昔の様子を知ることはできません。しかし、発掘調査を行うことで昔の人々の生活の様子がだんだんと明らかになっていきます。

さて、遺跡はどのようなところに多く見つかっているでしょう？また、皆さんの家の近くでは、どのような遺跡が見つかっていますか？



## 岩手県



- 原始 (旧石器・縄文時代)
- 弥生・古墳時代
- 古代 (奈良～平安時代)
- 中・近世 (鎌倉～江戸時代)

# 旧石器時代

約8万年前～12,000年前

●出土した石器の材料のうち黒曜石や頁岩は、遺跡から西に50km以上はなれた奥羽山脈付近から持ち込まれたものです。

今から2万年以上前の日本列島は、アジア大陸と地続きになっていました。当時は氷河期と呼ばれ、地球の大半が氷におおわれていました。その頃、ナウマン象やオオツノジカなどの動物を追って、人類が日本にやってきたと考えられています。

盛岡で旧石器時代の人々が生活した跡は、岩洞湖のほとりにある小石川遺跡から見つっています。1980年におこなわれた発掘調査では、約1万3千年前の地層から当時の人々が使った石器が、出土しました。



石器 (小石川遺跡)

# 縄文時代

約12,000年前～2,300年前

●盛岡で一番古い土器は、大新町遺跡から見つっています。土器は、1万年以上前に降った火山灰土の中から発見されました。

●縄文時代中期（5,000～4,000年前）は縄文文化が最も栄えた時代で、大胆な渦巻き文様が付けられた大きな土器がたくさん作られるようになります。

大館町遺跡からは高さ93cm、容積約140ℓもあり、子どもがすっぽり入ってしまうほどの日本最大級の土器も出土しています。

盛岡の縄文時代の遺跡は、川に近く見晴らしのよい丘の上などで多くみつっています。

縄文時代の人々は、森でクリやドングリを集めたり、シカ・イノシシを狩ったり、海や川で魚を獲ったりして、自然の豊かな恵みを得ていました。また、土器を発明したことによって食料の加工や貯蔵方法が発達しました。そして、一定の場所に住み続けるようになり、大館町遺跡や柿ノ木平遺跡のような大きなムラもありました。

この時代は、共通の文様の土器が広い地域で使われ、コハク・ヒスイなど産地が限られるものが遠くから運ばれてくるなど、人やモノが日本列島全域で交流した時代でもありました。



爪形文土器 (大新町遺跡)



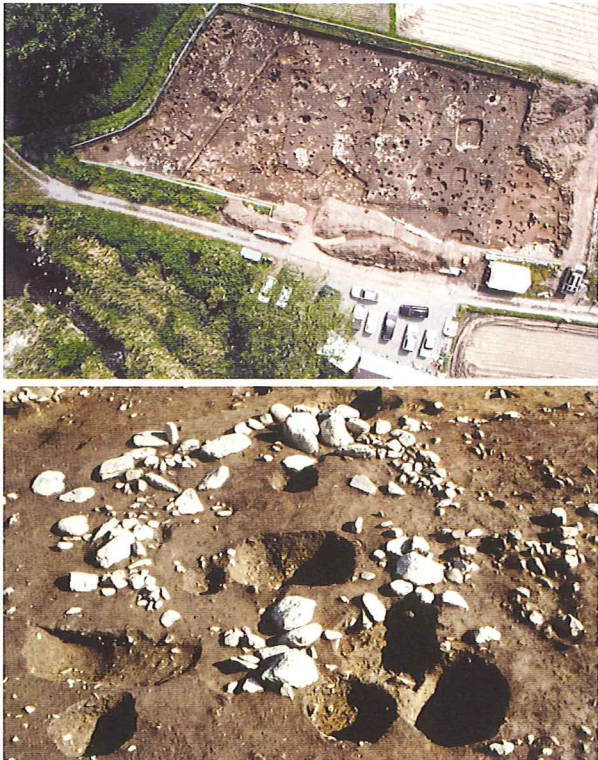
日本最大級の縄文土器 (大館町遺跡)

●縄文時代中期は日本列島各地で大きなムラがつくられる時代でもありました。盛岡でも大きなムラにたくさんの竪穴住居や食料を貯蔵する穴が作られました。



重なりあう住居跡 (大館町遺跡)

●配石遺構（ストーンサークル）とは縄文人が石を並べたものです。儀式などをするまつりの場かお墓と考えられています。川目A遺跡では30基以上の配石遺構が発見されています。



配石遺構（川目A遺跡）

●土偶はほとんどの場合、からだの一部分が欠けて見つかりますが、当時の生活を知る上でいろいろな情報をもっています。

葦内遺跡から出土した土偶の顔は、縄文人の顔だちがよくわかる資料です。また、手代森遺跡から出土した遮光器土偶は中が空洞で、薄手に作られていましたが、ほぼ完全な形で発見されました。

土偶は、そのほとんどが女性をかたどったものといわれていますが、どのように使われていたのかは詳しくわかっていません。子どもをさずかるように、また、病気を治すために祈ったなど、さまざまな説があります。



大形土偶頭部（葦内遺跡）

遮光器土偶（手代森遺跡）

## 弥生 古墳時代

約12,000年前～2,300年前

弥生時代の盛岡周辺では気候が涼しかったため、稲作はあまり広まらず、縄文時代と、よく似たくらしが続いていました。

古墳時代、大和朝廷の支配の外にあった盛岡周辺では大きな古墳は築かれませんでした。薬師社脇遺跡からは、北海道～北東北の様式の土坑墓（穴を掘ったお墓）に、南の古墳文化の土器（土師器）や鉄器が供えられていました。これは、盛岡が北の文化と南の古墳文化の交わる地域だったことを示すものです。

●永福寺山遺跡から出土した土器は、続縄文文化を持つ人々が使っていた土器です。また、薬師社脇遺跡では続縄文文化の特徴を持った墓に、南の古墳文化の人々が使った土器が供えられていました。



永福寺山遺跡出土土器



出土した土師器



墓坑（薬師社脇遺跡）

# 古代

飛鳥・奈良・平安時代

約1,400～800年前

古代東北地方にいた人々は「蝦夷」とよばれていました。飛鳥・奈良時代には、川の近くの平地で稲作がおこなわれるようになり、ムラの数が増えていきました。

平安時代、朝廷は東北地方北部もおさめようと東北各地に城柵を約20ヶ所つくりました。当時の盛岡には、太平洋側で最北・最大の城柵、志波城がつくられました。

その後、さらにムラの数が増え、地域の中心となるムラができます。このようなムラの長の一部が、後に安倍・清原氏のような豪族となり、さらに奥州藤原氏は、東北地方一帯をおさめるまでになりました。

●ムラ長が亡くなると、地面に直径3～10mの墳墓（古墳のような墓）をつくり、身につけていた武器・玉などを供えました。

また、政府と密接なかかわりを持つムラ長には「位」や「姓」が授けられました。そして、その証として、帯金具が贈られました。

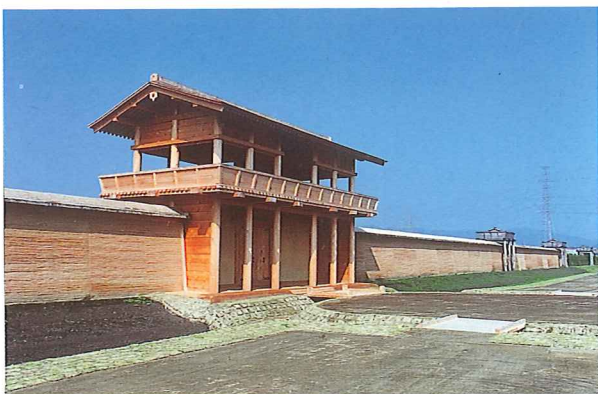


上田蝦夷森古墳群



太田蝦夷森古墳群2号墳 遺物出土状況

●朝廷は、城柵を東北各地につくり勢力を北上させていきます。盛岡には803（延暦22）年、坂上田村麻呂によって志波城がつくられます。城柵は、役所や軍事基地としての役割がありました。



復元された志波城

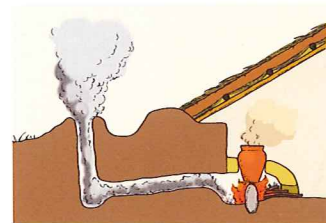
●奈良～平安時代の人々は、四角形の竪穴住居に住んでいました。壁の一边にかまどを作り、煮炊きを行っていました。



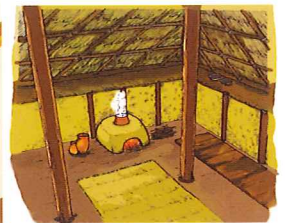
平安時代の中頃以降になると、周囲のムラをまとめる力をもったムラが見られるようになります。そのようなムラでは、大型の掘立柱建物がつくられ、役所のような働きもしたと考えられます。



古代の住居跡（西鹿渡遺跡）

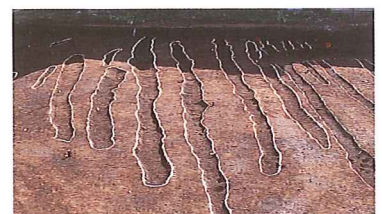


カマド断面



竪穴住居内部

●蝦夷は、東北南部以南の人々と同じように、鋤など鉄の農耕具を使い作物を栽培していました。向田遺跡からは、平安時代の畑跡が見つかっています。



古代の畑跡（向田遺跡）

# 中世～ 近世

鎌倉時代～江戸時代

約800～150年前

この時代は、主に武士（侍）が国や地域を治めていました。鎌倉時代から戦国時代にかけての盛岡周辺では、玉山氏、日戸氏、下田氏、福士氏、工藤氏、飯岡氏、斯波氏などが、それぞれの地域を支配していました。彼らは、小高い山や丘の上などに、堀や土塁などをめぐらせた「館」を築きました。

長い戦乱の末、この地方の武士達のほとんどは南部氏に従うようになりました。

南部氏は北上川と中津川の合流点を中心に城と城下町をつくり、現在へとつづく街並みをつくりました。さらに、各地に向かう街道を整え、およそ4 kmごとに一里塚をつくりました

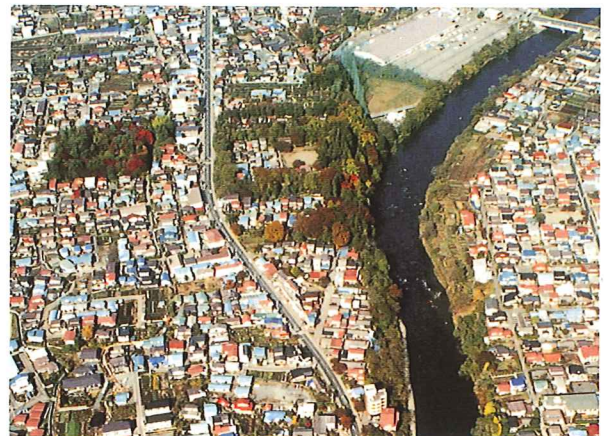
●市内には鎌倉時代から戦国時代にかけての館跡が約80ヶ所みつかっています。

「館」とは、領主の住まいであったり、戦の時の「とりで」の役割をしたものです。

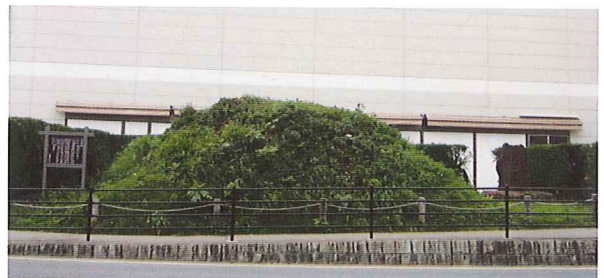
大きな「館」には、領主の住まいのほか、家臣の住まいや作業場、倉庫なども建てられていました。



玉山館跡（写真中央）



安倍館遺跡（厨川城跡）



上田一里塚（奥州街道）



盛岡城跡



高畑一里塚（閉伊街道）

●盛岡城は、南部信直・利直父子により築かれ、江戸時代を通して盛岡藩の中心となりました。

城は、城下を含めて三重の堀でかこまれており、広さは東西1,100m、南北1,300mにおよぶものでした。

●一里塚は、江戸日本橋から松前（北海道）をむすぶ奥州街道のほか、盛岡城下の鍛冶町（今の紺屋町）を起点とし、遠野街道、閉伊（宮古）街道、小本街道、野田街道、鹿角街道、秋田街道、沢内街道、志和稲荷街道につくられました。

# 盛岡遺跡年表

時代	年代		主なできごと	おもな遺跡名		
原 始	旧石器時代	13,000年前	大陸と地続き、大型の動物が生息する	小石川遺跡(玉山区藪川)		
	縄 文 時 代	草創期	12,000年前 10,000年前	BC10,000 土器の使用がはじまり、定住化が進む (縄文時代のはじまり)	大新町遺跡(大新町)	
		早期	8,000年前	BC7,000	庄ヶ畑A遺跡(上米内) 大新町遺跡(大新町) 日戸遺跡(玉山区日戸)	
		前期	6,000年前	BC4,000	気候が温暖化、海面が上昇、漁労が発達 各地に大型住居が出現する	上八木田遺跡(新庄) 畑遺跡(上米内)
			5,000年前			
		中期		BC3,000	各地に大規模な縄文集落	大館町遺跡(大新町) 柿ノ木平遺跡(浅岸) 川目C遺跡(川目) 繫V遺跡(繫) 上米内遺跡(上米内) 湯沢遺跡(湯沢)
		後期	4,000年前			
	3,000年前		BC2,000	気温が低くなる ストーンサークルがつくられるようになる	大葛遺跡(浅岸) 莉内遺跡(繫) 落合遺跡(下米内)	
	晚期		BC1,000	東日本で亀ヶ岡文化栄える	湯壺遺跡(湯沢) 上平遺跡(猪去) 手代森遺跡(手代森) 川目A遺跡(川目) 宇登遺跡(玉山区川又)	
	弥 生 ・ 古 墳	弥生時代	2,000年前	BC300	手代森遺跡(手代森) 繫VI遺跡(繫) 一本松遺跡(下米内)	
古墳時代		1,500年前	AD250	最北の前方後円墳がつくられる(角塚古墳 奥州市) 永福寺山遺跡(下米内) 薬師社脇遺跡(下米内)		
古 代	飛鳥時代		AD700	聖徳太子が推古天皇の摂政となる(593年) 大化改新(645年) 平城京に都をうつす(710年) 多賀城つくられる(724年)	上田蝦夷森古墳群(黒石野) 竹鼻遺跡(上鹿妻) 太田蝦夷森古墳群(上太田) 百目木遺跡(三本柳) 釜崎遺跡(玉山区好摩) 西鹿渡遺跡(三本柳) 永井古墳群(玉山区永井) 館・松ノ木遺跡(上太田)	
	奈良時代					
	平安時代	1,200年前	AD800	平安京に都をうつす(794年) 胆沢城つくられる(802年) 志波城つくられる(803年) 徳丹城つくられる(812年) 遣唐使をやめる(894年)	志波城跡(下太田) 台太郎遺跡(向中野) 乙部方八町遺跡(乙部) 芋田遺跡(玉山区芋田) 林崎遺跡(下太田)	
		1,000年前				
中 世 ・ 近 世	鎌倉時代		AD1,200	源頼朝、鎌倉幕府を開く(1192年)	大宮遺跡(本宮) 堰根遺跡(浅岸) 台太郎遺跡(向中野)	
	南北朝時代		AD1,300	文永(1274年)・弘安の役(1281年) 建武の新政(1334年)		
		500年前	AD1,400	足利尊氏、室町幕府を開く(1338年) 足利義満、明との貿易を始める(1404年) 応仁の乱(1467~1477年)	里館遺跡(天昌寺町) 繫III遺跡(繫) 安倍館遺跡(安倍館町)	
	室町時代					
		安土・桃山時代			織田信長が京都に入る(1568年)	日戸館跡(玉山区日戸) 下田館跡(玉山区下田) 玉山館跡(玉山区玉山)
	江戸時代		AD1,580	南部信直が志和郡攻略(1588年) 盛岡城下の建設はじまる(1592年)	盛岡城跡(内丸)	
			AD1,600	徳川家康、江戸幕府を開く(1603年)	一里塚 南部家墓所(北山)	
近 代	明治~		AD1,850	ペリーが浦賀に来航(1853年) 大政奉還(1866年)	山陰窯・花古窯(新庄)	
				明治改元(1868年)		